

氏名	池原郁子
学位の種類	医学博士
学位授与番号	甲第607号
学位授与の日付	昭和61年3月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	JC ウイルス誘発ラット大脳腫瘍細胞の <i>in vitro</i> における形態学的性格、とくにアデノウイルス12型一およびエチルニトロソ尿素誘発ラット大脳腫瘍細胞との形態学的成熟度の比較について
論文審査委員	教授 栗井通泰 教授 矢部芳郎 教授 新居志郎

学位論文内容の要旨

JCウイルス(以下JCVと略す)をラット新生仔の脳に接種して誘発した大脳腫瘍の *in vitro* における形態学的特徴を光顕的、電顕的及び免疫組織化学的に追求した。これをアデノウイルス12型(以下Ad12と略す)並びにエチルニトロソ尿素(以下ENUと略す)誘発大脳腫瘍細胞のそれと比較することにより、神経上皮性腫瘍の一連の成熟段階における3者の相互関係を検討した。

JCV誘発腫瘍の培養細胞は多極性の細長い細胞質突起を有し、走査電顕像で直走する多数の糸足が特徴的であり、透過電顕像で中間径線条の産生が証明され、Glial Fibrillary Acidic Protein (GFAP)が陽性に染った。これらの所見の他、すべての形態学的成熟度が総じてAd12誘発ラット大脳腫瘍とENU誘発ラット大脳腫瘍のそれと相互に移行し、また両者の中間にあった。以上によりJCV誘発ラット大脳腫瘍はその形態学的性状が神経上皮性細胞の星膠細胞へ向かう一連の分化の線上で、既知の最も未分化な原始神経上皮性腫瘍に当たるAd12誘発腫瘍と、最も成熟したENU誘発星膠腫との間に位置する原始海綿芽腫に相当する腫瘍であることを立証できた。

論文審査の結果の要旨

JCウイルス(JCV)をラット新生仔の脳に接種誘発した腫瘍の *in vitro* における形態学

的特徴を追求し、これをアデノウイルス12 (Ad12) 並びにエチルニトロソウレア (ENU) 誘発大脳腫瘍細胞のそれと比較検討した結果、JCV誘発腫瘍はその形態学的成熟度がAd12誘発腫瘍とENU誘発腫瘍の相互に移行し、両者の中間に位置することを見出した。これらの知見は脳腫瘍の実験的研究上に重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。